

同時発表
東北地方整備局

平成23年6月22日
国土交通省河川局
国土地理院

岩手県沿岸部における地震に伴う地盤沈下について

東北地方太平洋沖地震に伴う地殻変動や津波により、岩手県の沿岸部では地盤沈下や侵食が発生しています。

また、津波により、堤防等の施設が破壊され、高潮等に対する安全性が著しく低下していることから、航空レーザ計測により得られたデータより、岩手県沿岸の地盤高を把握し、海面との高さの関係を整理しましたのでお知らせします。

地震後にはこれらの地域において、海拔0m¹以下、大潮の満潮位²以下、過去最高潮位³以下の面積⁴が増加しており、それぞれ、0.6 km²、3.5 km²、8.1 km²となっています。

	地震後	地震後増加した割合 (推定値) ⁵
海拔0m以下の面積 (T.P. ±0m)	0.6 km ²	1.8 倍
大潮の満潮位以下の面積 (T.P.+0.7m)	3.5 km ²	3.2 倍
過去最高潮位以下の面積 (T.P.+1.2m)	8.1 km ²	2.3 倍

1 東京湾平均海面(T.P. ±0m)

2 朔望平均満潮位: 新月および満月の日から5日以内に現れる各月の最高満潮面の平均値。ここではT.P.+0.7m

3 T.P.+1.2m : (岩手県5地点の既往最高潮位の平均値)

4 小数点第二位を四捨五入

5 地震前後の航空レーザ計測結果がある地域より計算

同様の発表を、東北地方整備局より、東北電力記者クラブ、東北専門記者会に対し実施しております。

< 問い合わせ先 >

国土交通省河川局河川計画課河川情報企画室 03-5253-8446(直通)
課長補佐 中村 圭吾 (03-5253-8111(代表) 内線 35375)